

**令和6年度第2回 幸田町地域公共交通会議
議事録**

1 開催日時 令和7年1月27日(月) 14:00~15:00

2 開催場所 幸田町役場 4階 第3第4委員会室

3 出席者

【委員】

区分	職名等	氏名	備考及び代理出席者等
学識経験者	名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所工学科 教授	三輪 富生	会長
	名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授	松本 幸正	副会長 欠席
交通事業者等	愛知県タクシー協会岡崎支部 支部長 (岡陸タクシー(株))	浅岡 林平	
	幸田タクシー株式会社 代表取締役	葉賀 玲子	
	株式会社レミックス 代表取締役	池田 広史	
	町内交通事業者 運転手代表 (株)レミックス)	三浦 節夫	
住民・利用者	幸田町区長会 会長	小野 伸之	
	幸田町商工会 会長	神取 勇	代理出席 石川 正樹
	幸田町老人クラブ連合会 会長	山本 實	
	幸田町身体障害者福祉協会 会長	加藤 雅敏	
	幸田町手をつなぐ育成会 会長	小山 興建	欠席
	幸田町聴覚障害者福祉協会 会長	高橋 恵子	
行政	国道交通省 中部運支局 愛知運支局 首席運輸企画専門官	宮川 高彰	
	愛知県都市・交通局交通対策課 担当課長	石谷 義道	欠席
	愛知県 西三河建設事務所 維持管理課長	能登谷 敦	
	愛知県警察 岡崎警察署 交通課長	山口 幸治	代理出席 小梁 亮
	幸田町 副町長	大竹 広行	

敬称略

【事務局】

職名	氏名	備考
幸田町 企画部 企画政策課 課長	柴田 淳一	
幸田町 企画部 企画政策課 主幹	石川 純子	
幸田町 企画部 企画政策課 主事	清水 総公	

【事務局補助】

職名	氏名	備考
株式会社 建設技術研究所	寺奥 淳	
株式会社 建設技術研究所	木村 拓憲	

4 会議次第

- 1 開会
- 2 協議事項
 - (1) 【第1号議案】えこたんバスの再編（案）について
- 3 報告事項
 - (1) 活動状況について
- 4 その他
- 5 閉会

5 資料

- ・**資料1** 令和6年度第2回幸田町地域公共交通会議資料
- ・**参考資料** えこたんバスのルート及び利用状況について

6 議事内容

1 開会

（三輪会長挨拶）

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本会議では、事務局が作成したルート案について説明があるかと思われますが、よりよい再編を行うため、忌憚のないご意見をいただければと思います。皆さんのご協力のほどよろしくお願ひいたします。

2 協議事項

【第1号議案】えこたんバスの再編（案）について

- ・事務局より**資料1：2～32ページ**、**参考資料**に基づいて説明

【質疑等】

委 員：えこたんバスのルートから外れる地区については他の公共交通でカバーするとあるが、現在具体案はどのようなものがあるのか。

事務局：南側と同じく、チョイソコこうた等のデマンド型乗合交通を導入していくと考えている。

委 員：ルート1と3を合わせて、バスの便数増加やデマンド型等他の交通へ資源を回すことも考えられるがどうか。

事務局：ルートとしては、3駅+1を交通結節点として、片道20分を想定して作成した。今後案を詰めていく段階で、より効率的な運行が無いかも含めて検討していく。

委 員：えこたんバスが通らないと移動の足が無くなることから心配の声が上がるかもしれないが、空気を運んでいると言われているえこたんバスではなく、デマンドがどのように対応できるのかを知りたい。

坂崎地区では坂崎コミュニティライドが導入されているが、町として他の地区ではどのよう

に進めていくのか。

ルート3について、町民会館を主要な施設とするのであれば、主な停留所に記載した方がいいのでは。

事務局：チョイソコについては、会員制の専用の停留所間を移動することができるものとなる。対象者としては、65歳以上または障害者手帳をお持ちの方と限定している。

坂崎コミュニティライドについては、月2回ほどのお買い物サークルやお出かけイベントの実施をしているが、公共交通などの頻度ではないため、公共交通と切り分けて考える必要があるかと思われるが、将来的には地域にとって憩いの場や移動の足として必要な事業になると考えている。他地域への展開については、地域の方のご協力が主になってくるので、地域との打合せ等を検討している。

町民会館については、3駅+1に該当する交通結節点と位置付けていることもあるため、資料に記載させていただく。

委員：久保田、永野、新田、逆川地区がえこたんバスのルート案から外れているが、チョイソコでのカバーを想定しているのか。

また、チョイソコは将来的には有償化することはあっても、事業が終了することは無いと考えていいのか。

事務局：えこたんバスのルートから外れる地区については、チョイソコでのカバーを想定している。

チョイソコの継続について、事務としては、続けていきたいことであるが、事業の実施には当然費用がかかることであるため、必ず保証することはできない。

委員：バスの対象としては、運行時間の拡大等をするのであれば通勤・通学となるかもしれないが、現状の運行とするならば高齢者であると思われる。そのため、ルートに主な行先を明示した方がどのルートを利用すればいいかわかるため、利用者数が増加すると思われる。また、高齢者の主な行先としては商店、薬局、金融機関が多いと思われる。

事務局：通勤・通学を対象とすると利用者増加を図れるとは思われるが、ドライバー不足等の状況の中、時間延長を厳しいと判断した。今後、再編後に利用者数のデータが収集できた後に通勤・通学の必要性の検討になると思われる。

・第1号議案の承認

3 報告事項

・事務局より資料1：33～35ページに基づいて説明

【質疑等】

委員：ドライバー不足とあるが、えこたんバスの運行について現状維持は可能なのか。

事務局：現在雇用しているドライバーが高齢化しているが、引き続きお願いしようと考えている。

将来的に有償化を考えていくにあたり、許可申請等に2種免が必要になってくるため、その際には合わせて交通事業者への委託を検討していく。

委員：チョイソコのドライバーについてはどのようにお考えか。

事務局：今後実施が具体化する段階にて相談が必要になるが、チョイソコについても同様に、委託を検討しており、委託先として町内2社にお願いしたいと考えている。

委員：再編実施の時期はどのようにお考えか。また、スクールタイムの委託について検討が必要とのことであるが、えこたんバスと同様に委託は難しいのか。

事務局：再編の時期については、えこたんバスのルート検討、住民への情報周知

えこたんバスについては、現在、ドライバーを町が直接雇用し、町所有の車両にて運行して

いる。

委 員：えこたんバスは現在白ナンバーであるため、大型自動車免許のみで運行自体は行える。有償化するため、青ナンバーにする場合、費用が高額となるため受託は現実的ではないと考えている。

スクールタイムだけでの受託は運行時間に対して、費用がかかってしまうため、検討が必要となってくる。

委 員：高齢になると、免許返納を考えていくことになる。しかしながら、公共交通がなければ、日常生活のためには自動車を手放せなくなるため、合わせて考慮していただきたい。また、チョイソコの使い方について周知をお願いしたい。

事務局：免許返納をした方の移動手段確保のために、デマンド交通を導入した経緯がある。今後とも考慮して進めていきたい。

チョイソコの使い方の周知については、エリア拡大と合わせて説明会等を実施していく。

委 員：えこたんバスのバス停について、団体で乗車体験会を実施した結果、バス停がどこにあるのかわからない。乗車しているとバス停の表記が見えないため、案内表示について実施してほしい。地名についても読めないことがあるため振り仮名が欲しい。字が小さいため、大きくてほしい。車内に案内掲示板の設置をお願いしたい。といった意見が出ている。

事務局：すぐに対応できる個所については対応していく。設備の導入には費用がかかることにもなるため、所管する財政課とも情報共有をして進めていく。

委 員：有償化について、えこたんバスは無料であるが、チョイソコは有償であると、町中心部はえこたんバスを無料で乗れるのに縁辺部の方からはチョイソコしかなく有償であるという料金に対する不平等感があると思われるため、考慮して検討を進めていく必要がある。また、他自治体での交通再編等の事例は把握されているのか。

事務局：有償化については、1乗車につき一律料金になると思われるが、その他交通との比較を含めて料金体系を慎重に検討していく。

他自治体については、先日菰野町の交通会議を傍聴したが、路線バスやデマンド交通など多くの事業を実施していても様々な要望が出ていた。また、条件が異なると適している体系についても変わっていくほか、利便性ばかりを見て、様々な事業を行うとどうしても費用負担が多くなるため、幸田町に適した効率的な体系を検討していきたい。

会 長：地域によって地形や住民の意識が異なるため、適しているパターンも異なる。

地域によっては、バスを全て廃止しフルデマンドにした事例もあるが、うまくいっていないケースがほとんどとなっている。町の再編については、バスを全て撤退するのではなく、主要施設を停留所として、他地域をデマンド等でカバーするという棲み分けをしており、方向性はいいと思われる。

委 員：交通体系の構築にあたっては、組み合わせが大切であると考えている。デマンドが全町であるとデマンドだけで済ませてしまう場合が発生することが懸念される。デマンドからバス停留所まで移動するなど、バスとデマンドの使い方、対象の棲み分けが必要になると思われる。

4 その他

特になし。

5 閉会

事務局：本日は大変お忙しい中、本会議に御出席いただくとともに慎重に御審議いただきまして、誠にありがとうございました。本会議にていただいた御意見や議会での意見を反映させてルート案を再度検討してまいります。今後とも御協力のほど、よろしくお願ひいたします。

以上をもちまして、令和6年度第2回幸田町地域公共交通会議を閉じさせていただきます。

皆様、本日は大変お忙しい中、ありがとうございました。